

2022年4月

インストラクターニュースレター

LinkedInラーニングの最新ニュース

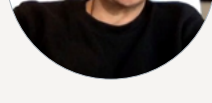
講師各位

このひと月の間、多くの人々が困難に見舞われました。ウクライナ情勢が悪化の一途を辿るなか、現地に家族や友人がいる方々は大きな不安や苦痛を味わい、戦争やかつての紛争の影響を受けた人々の脳裏には悪夢が蘇っています。

ウクライナの同僚や友人、この緊迫した状況に巻き込まれている方々の安全と心身の健康は、私達が最も懸念するところです。事態は刻々と変化しています。私達はメンバーの皆様のためにLinkedIn内外で引き続き支援の手を差し伸べてまいります。詳細については[こちら\(英語のみ\)](#)からご覧いただけます。

なんらかの支援を検討している方のために、LinkedIn Social Impactチームが安心して対応できると判断した慈善団体を紹介します。寄付先の参考にお使いください。例:[UNHCR\(国連難民高等弁務官事務所\)](#)、[Nova Ukraine, International Medical Corps\(国際医療隊\)](#)、[セーブ・ザ・チルドレン](#)、[GlobalGiving Foundation](#)

[Fiona Trayler](#) (LinkedInラーニンググローバルコンテンツ制作責任者) からのメッセージを紹介します。



Fiona Trayler

「私達はかつてない時代を経験しています。そんな中でもこの1年、創造力を駆使して今までにないような解決策を見出し、困難を確実にチャンスに変えてきた皆様にはただただ感謝の気持ちでいっぱいです。また数々の世界基準のコンテンツを最高のチームと共に作り上げることができたのは、本当に光栄なことです。リモートワーク、さらに自宅での収録という不確実な時代が生み出した新しい働き方に、挑戦されてきたと思います。大きな変化の中でもプロとしてのスキルや才能、そしていつもユーモアを忘れずに接してくださる皆様の熱意に私自身、身が引き締まる思いです。

2022年には、オフィスに戻り、スタジオでの収録を再開できることを期待しています。私を含めた誰もが、今年はどうなるのかと思いを巡らせているのではないのでしょうか。いつになったらLinkedInラーニングのスタジオで収録を再開できるのかと思っている方も数多くいらっしゃると思います。現時点ではまだはっきりとした日にちをお伝えすることはできませんが、着々とその準備は進んでいます。これからスタジオ収録の再開に向けて、進捗状況を随時お伝えしてまいります。それまでは引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。」

求職者に向けた通知に関する新機能について

今四半期は受講者の方々とコースを結び付け、LinkedInで皆様をフォローしてもらえるような新製品や新機能の作成に精一杯取り組んできました。

今後LinkedInで求人への通知を「オン」にした求職者には、職探しに役立つコースをお知らせするメールや通知が送られるようになります。このような規模でLinkedInのエコシステムと統合され、LinkedInの9,400万人もの求職者にコンテンツが提案されるようになるのは初めてのことでです。

LinkedInプロフィールのキャリアブレイク機能について



LinkedInでは離職期間(キャリアブレイク)をマイナスなイメージで捉えるのではなく、柔軟な働き方に賛同し、一度離職した人材がLinkedInコミュニティを活用して仕事に復帰できるよう支援しています。離職期間後の仕事への復帰は、不安がつきまとうものです。実際、一時的に職を離れたことのある人の56%が仕事に戻ることに不安を感じたと回答しています。LinkedInでは新たにキャリアブレイク機能をプロフィールに追加し、さらにメンバーの再就職を支援するためのリソースを提供していきます。詳細については[こちら](#)からご覧いただけます。

コースのマイルストーンバッジを作りました



前号のニュースレターでもお伝えしましたが、コースの学習者が一定の人数に達したさいに講師に通知が送られるようになりました。それをあなたのネットワークで広く告知できるよう、あなたのコースの受講者数の到達度を示すマイルストーンバッジを新たに作成しました。講師向けウェブサイトの[プロモーション事例](#)からファイルをダウンロードして、ぜひご利用ください。

LinkedInニュースレターの新機能

LinkedIn Learning

LinkedInニュースレターを作成するための10ステップ

新しいコンテンツでオーディエンスとのエンゲージメントを高めましょう

LinkedInニュースレターの作成で実現できること

LinkedInのクリエイターモードをオンにすると、ご自身がいま力を入れていることについて、定期的にニュースレターとして発信することが可能です。LinkedInメンバーは講師の資格が配信するニュースレターを購読することが可能です。LinkedInニュースレターはそれぞれ固有の専用ページとなっており、LinkedInメンバーは講師やニュースレターの詳細を確認したり、過去の記事を開覧したり、ニュースレターの購読や共有を行うことができます。

ニュースレターの記事が公開されると、購読者には通知が送信されるため、閲覧数の増加につながります。ニュースレターの読者からリアルタイムのフィードバックやコメントを受け取ることで、記事の内容に関して充実したやり取りを行うことができます。

ニュースレターのメリット

- 時間をかけたコミュニティの構築と育成
- 素早いオーディエンスの獲得：ニュースレターを開始するさい、一度だけフォロワー全員にLinkedInから購読を呼びかける通知を送信することができます。
- メールによるオーディエンスへの通知：新着記事は、メールとLinkedIn上の通知で購読者にお知らせすることができます。

[LinkedInのクリエイターモードをオン](#)にすると、LinkedInメンバーに向けて独自のニュースレターを作成し、配信できるようになります。エンゲージメントをより高める新しい機能として、コースの動画をニュースレターに埋め込み、直接再生できるようになりました。ニュースレターに関する詳細とコース動画の埋め込み方法については、講師向けウェブサイトの[プロモーション事例](#)から「[LinkedInニュースレターを作成するための10ステップ](#)」をご覧ください。

ウェルカムビデオのデザインが新しくなりました

コース冒頭にあるコース紹介動画(ウェルカムビデオ)の講師紹介部分のデザインが新しくなりました。アニメーションを用い、コース名や担当講師名、顔写真などが一目でわかるようになりました。ぜひ[実際のコース](#)でご確認ください。



新しい講師のご紹介

LinkedInラーニングの日本語ライブラリに新しい講師の方が加わりました。



楊 顯領 (Ray Yang)さんはLinkedInのシニアアカウントエグゼクティブです。台湾出身で、中国へ交換留学したのちに現地です系メーカーで務め、その後日本に移住しました。現在はLinkedInにて法人向けソリューションの新規提案や導入支援を行っています。2月に最初のコース「[学生のためのLinkedIn入門](#)」が公開されました。



野嶋 友博さんは株式会社アッকারマン代表取締役社長で、LINEの認定講師であるLINE Frontlinerでもあります。普段はLINEを用いたデジタルマーケティング支援や、事業開発を専門に活動しています。2月に1本目のコース「[LINE 広告入門](#)」が公開されました。



岩橋 智宏さんはデータ&アナリティクス・コンサルタントです。日本IBMとTableau Japanを経て、2021年よりSlalomにてトレーニングの開発やデータ活用に関するコンサルティングを行っています。『Tableauで始めるデータサイエンス』(共著)を出版したほか、FacebookにてTableauデータサイエンス勉強会を主宰し、コミュニティの育成や情報発信にも取り組んでいます。3月に「[Tableau Desktop 基本講座](#)」が公開されました。

同じLinkedInラーニングの講師として、ぜひよろしくをお願いします。

LinkedInラーニングに関する視聴者の声

今回もたくさんのユーザーからコースについてさまざまなフィードバックをいただきました。以下その一部を紹介します。

[1on1ミーティングを実施する](#) 講師: [近藤 実](#)

言葉の流れが聞き取りやすく、頭に内容が入りやすかったです。

[グラフィックデザイン入門](#) 講師: [恒岡 淳一](#)

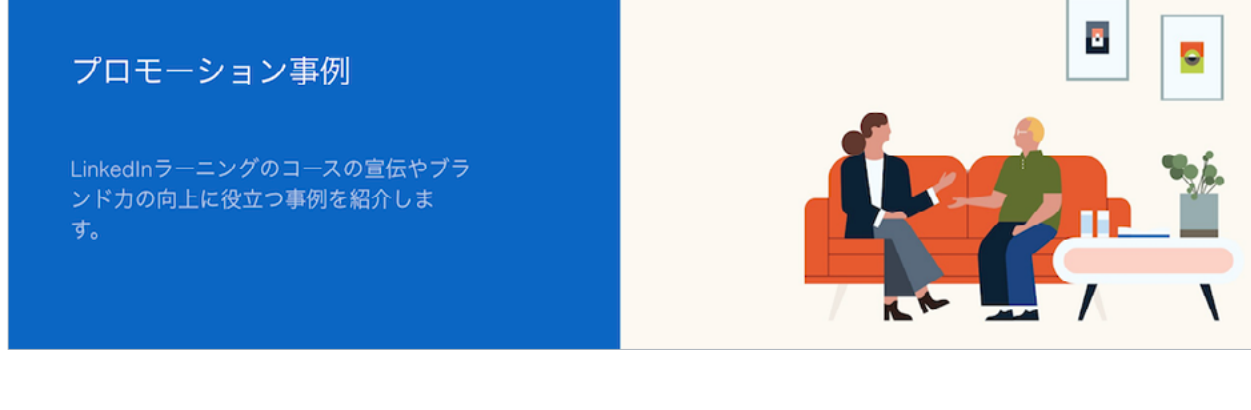
なんとなく認識していたことを再確認できました。色合い、トーン、陰については初めて知る知識でした。

[Excel 基本講座: 基本操作 \(Office 365/Microsoft 365\)](#) 講師: [清水 あけみ](#)

私は必要に迫られてExcelを覚えました。自分の作りたい資料の関数を求め参考書を探して三千里、さらに仕上げるまでに幾年月。改めて基本の学び直しができました。何事も基本は大事ですね。ありがとうございます! 清水トレーナーに感謝します。LinkedInに登録よかった。

講師向けウェブサイトで最新情報を

[講師向けウェブサイト](#)に用意されている豊富なベストプラクティスガイド、マーケティングツール、ブランド素材などをこれからもぜひご利用ください。



今月もニュースレターをお読みいただき、ありがとうございました。LinkedInラーニングのさらなる発展に向けて、引き続きよろしくお願いいたします。



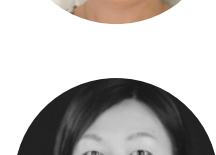
Joel Fugazzoto
Head of Learning Content Strategy
LinkedIn Learning, Asia
<https://www.linkedin.com/in/fugazzoto/>



浜崎 慎一郎
コンテンツマネージャー
<https://www.linkedin.com/in/hamazaki/>



高橋 真紀子
シニアコンテンツマネージャー
<https://www.linkedin.com/in/makitakahashi/>



神崎 千穂
コンテンツマネージャー
<https://www.linkedin.com/in/chiho-kozaki/>